



発行所
社会福祉法人
静岡県身体障害者福祉会
静岡市葵区駿府町1番70号
電話 054-252-7829
FAX 054-255-2011
発行 平成29年1月10日
発行人 二橋 眞洲男
編集人 松本 夢吉

第96号



新年のごあいさつ

社会福祉法人静岡県身体障害者福祉会
会長 二橋 眞洲男

新年明けましておめでとうございます。

念頭にあたり一言御挨拶申し上げます。

さて、昨年4月に「障害者差別解消法」が施行されましたが、静岡県においては「差別解消条例」の制定に向けた意見交換会がこれまで2回行われ、今は条例制定が待たれるところです。今後は、差別や「合理的配慮」の事例が蓄積されるとともに、障害者が不当な扱いを受けたときの相談や救済が丁寧に行われ、全ての国民が障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会を、一日も早く実現されることを願ってやみません。

また、今年には社会福祉法人制度改革が4月に始まります。理事会と評議員会の権限等が大幅に改正され、これまでの理事会・評議員会のイメージが一新されます。実際には、1年度を経験しないとなかなか改革が実感できないかもしれませんが、いずれにしても、理事、監事及び評議員の定数は減少し、議事内容にも変更がありますので、御承知ください。

さらに、これまで機会あるたびにお話ししてきましたが、NPO法人浜松市身体障害者福祉協議会は、平成29年3月31日をもって社会福祉法人静岡県身体障害者福祉会を退会することになります。これは、政令市として社会福祉法人日本身体障害者団体連合会に加入するために必要な措置でありますので、どうぞ御理解をいただきたいと思っております。

最後に、新しい年を迎え、皆々様の御多幸と御健勝を、また、構成団体の一層の御発展を心からお祈り申し上げます、新年の挨拶とさせていただきます。

平成29年 丁酉（ひのととり）年

静岡県健康福祉部長との懇談会について (身体障害者福祉施策に関する要望書の提出)

昨年10月17日(月)に県庁別館で、身体障害者9団体の代表者と静岡県の山口健康福祉部長、渡瀬健康福祉部長代理、高橋障害者支援局長、増田障害者政策課長、渡辺障害福祉課長との懇談会が行われました。

冒頭、二橋会長から9団体連名の『平成28年度身体障害者団体要望書』を山口健康福祉部長に手渡しました。

要望書の内容は以下のとおりです。

<全体要望(各団体に係る要望)>

1 静岡県障害者差別禁止条例の制定について

障害者差別解消法が平成28年4月に施行しました。障害の有無にかかわらず、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会を地域の隅々まで普及させるため、静岡県障害者差別禁止条例を制定してください。

2 災害時の対応及び防災施策について

南海トラフを起因とする地震災害が懸念される中、「平成28年熊本地震」が与えた影響は計り知れません。障害者にとって安心・安全な暮らしができるよう、引き続き障害の特性等を考慮した施策を講じてください。

<団体別要望(団体独自の要望)>

社会福祉法人静岡県身体障害者福祉会からは次の4点を要望しました。

1 団体に対する支援について

会員の高齢化及び減少により、60有余年続いた本会は人的かつ財政的に非常に苦しい状況にありますが、身体障害者の権利の確保や社会参加の促進等に果たす本会の役割について御理解いただき、御支援をよろしくお願いいたします。

また、市町が地域の身体障害者福祉会に補助金を支給する場合、本会への加入状況や各種事業への参加状況等を配慮事項に加えていただきたく、市町への御指導を併せてお願いいたします。

2 日本身体障害者団体連合会関東甲信越静岡ブロック協議会結婚促進事業開催への支援について

このたび、本会が加入する日本身体障害者団体連合会関東甲信越静岡ブロック協議会が毎年実施している結婚促進事業(「友愛の集い」)が、平成29年度において本会及び特定非営利活動法人静岡市身体障害者団体連合会と共催で開催することが決定されました。参加人数は100人程度を予定していますが、経費負担について苦慮しており、静岡県の御支援について配慮を賜りたくお願いいたします。

3 送迎バス等の支援について

これまで、身体障害者がさまざまな事業や行事に参加するためには、市町等がマイクロバスを提供してくれる一部の地域を除き、身体障害者が運転する自家用車に相乗りで出かけることが一般的でした。しかし、会員の高齢化に伴い、自動車を運転することが危険な状況になっており、社会参加の機会が奪われています。このため、貸し切り送迎バスの経費補助、あるいは福祉バス等による移送支援ができるよう御支援をお願いいたします。

4 体育館の清掃について

本会は、県から身体障害者福祉センター運営事務委託を受けており、その事務の中で福祉団体への便宜供与として体育館等の施設の貸出業務を行っています。

ところで、本会が入居する静岡県総合社会福祉会館の指定管理者である静岡県社会福祉協議会の見解によれば、理由は定かではありませんが、平成21年度から体育館の清掃は指定管理者業務から外されています。施設利用者である障害者が、使用後に清掃することを前提としているとすると、それは過重な負担であり、館内の他の貸出施設との整合性も取れません。是非、指定管理者業務に加えていただきたくお願いいたします。



【要望書を提出する二橋会長】

その他8団体（①公益社団法人静岡県視覚障害者協会②公益社団法人静岡県聴覚障害者協会③静岡県車椅子友の会④日本喉摘者団体連合会静岡県静鈴会⑤公益社団法人日本オストミー協会静岡県支部⑥日本心臓ペースメーカー友の会静岡県支部⑦特定非営利活動法人静岡県中途失聴・難聴者協会⑧静岡県腎友会）から26項目の要望がありました。

（紙面の都合で静岡県身体障害者福祉会に関する部分のみを掲載しました。）



しずおか元気応援フェア2016に出展しました！

日 時：平成28年10月8日(土)～9日(日) 10:00～16:30（9日は～16:00）

場 所：ツインメッセ静岡 北館

今年もしずおか元気応援フェアが開催され、会場には健康・食・福祉に関するブースが並び、多くの来場者でにぎわいました。

静岡県身体障害者福祉会ブースでは、8日(土)に点字体験とストラップ作り、9日(日)に竹細工作りを行い、年齢を問わず多くの方が体験してくださいました。ストラップ作りは、今年も中部ブロック女性部の4名に講師として指導していただきました。簡単でかわいいストラップを作ることができるため、来場者が絶えずブースにいらっしゃいました。

福祉ゾーンの各ブースでは福祉機器の展示、授産製品の販売等、福祉体験ゾーンではセニアカー、車いすの試乗体験、盲導犬・聴導犬のデモンストレーションが行われました。盲導犬・聴導犬のデモンストレーションでは、お子さんを中心に多くの方が体験され、補助犬に対する理解が深められたのではないかと思います。

しずおか元気応援フェアへの出展は、今年度をもって最後となります。長年ご協力いただいた関係者の皆様に心より御礼申し上げます。



【オープニングセレモニー】



【ストラップ作り】



【盲導犬歩行体験】

三幸協同製作所視察研修

河津町身体障害者福祉会 古川 文夫

平成28年11月28日、小雨降る午前7時、会員・ボランティア合わせて14名にて福祉センター前を出発し、一路浜松に向かって東名高速を下りました。

12時30分に三幸協同製作所に到着。13時に室内へ案内され、会議室に落ち着きました。

入所者の内訳、入所の手続き等1時間程丁寧に説明して頂き、その後、実際の作業現場に移動して作業の手順などを見学しました。

彼らは自分自身の力を最大に発揮して、わき見もせず黙々と作業をこなしていました。その様子からは、自分の持っている障害に甘えることなく、製品の納期を確実に守るという決意を感じることが出来ました。今回参加した大部分の人達が、いつもの「研修とは違うもの」を感じ、遠かったけれど参加して「心に残る研修になった」と言っていました。

第58回静岡県身体障害者福祉大会

平成28年4月1日から「障害者差別解消法」及び「改正障害者雇用促進法」が施行されたことで、今後、国民の理解を深めてゆくことや差別禁止・合理的配慮に反する事例の集積等が極めて重要となります。このような中で身体障害者及びその関係者が一同に会し、障害者を取り巻く環境について理解を深めつつ、一致団結して諸活動に取り組んでゆくことを確認することを目的とし標記大会が開催されました。

式典には、吉林副知事や鈴木県議会議長をはじめ、多くのご来賓の皆さまにご臨席賜り、第一部表彰、第二部事業報告・計画・大会宣言・大会決議と進み第三部では、大石みつえ氏による「朗演／雪女・暎の母」をご公演いただきました。

今年度の表彰者は、下記の通りです。

[県知事]

◎褒賞贈呈者（3名）（身体障害者相談員（20年以上の在籍者）

・山田 忠男（熱海市） ・杉本枝三郎（焼津市） ・寺田 幸男（磐田市）

[会 長]

◎一般社会人等感謝状贈呈者（3名）

（身体障害者の福祉向上に寄与し貢献があった一般団体又は個人で、会長又は郡市団体長の推薦した者）

・笠原 昭男（静岡市）
・綾部弥栄子（静岡県視覚障害者情報支援センター点訳奉仕員）
・水島まさよ（静岡県視覚障害者情報支援センター音訳奉仕員）

◎特別感謝状贈呈者（2名）（前年度に各郡市町会長を退職し、その功績顕著な者）

・石川源八郎（下田市） ・小野田 勲（御前崎市）

◎功労表彰状贈呈者（4名）（身体障害者相談員として10年以上在職し、功績顕著な者）

・磯部 勝弘（藤枝市） ・後藤 光恵（島田市） ・佐藤 忠（島田市）
・水島 武雄（掛川市）

◎自立更生表彰状贈呈者（10名）

（身体の障害を克服して自立更生し、一般障害者の模範となる者で郡市町団体長の推薦した者）

・伊代野 孝（伊東市） ・出原 文男（御殿場市） ・長谷川 浩（裾野市）
・杉山 勝彦（藤枝市） ・樋ノ浦勝則（吉田町） ・松下 浩一（御前崎市）
・鈴木 俊雄（菊川市） ・一木 祐治（袋井市） ・赤塚壽美江（磐田市）
・山田 保夫（磐田市）

☆今回の受賞を代表して磐田市の寺田幸男さんによるこびの声をいただきました。



県知事褒賞受賞者 よろこびの声

この度の、身体障害者福祉大会において知事褒賞を戴いたことは大変身に余る光栄であり関係者の皆様に感謝申し上げます。

私は相談員として22年間務めて参りました。当初は何も分からず諸先輩の皆さんからご指導を受け、障害者の方々からお話を伺って来ました。皆さんが障害を持っていることを他人に話せず大変ご苦労されておりました。最近では障害者支援の為に法律が制定され、当事者の一人として嬉しく思っています。

近年は身障福祉会会員の高齢化と共に会員数が減少している為、若い人達に声をかけ一人でも多くの人に入会して頂ける様努力致します。また福祉会が安定して継続出来る様に微力ながら協力して行きたいと思っております。

受賞者代表：磐田市 寺田幸男

第34回静岡県身体障害者自動車安全運転教室

日 時：平成28年10月16日(日) 10：50～16：00

場 所：静岡県自動車学校 静岡校

静岡県身体障害者自動車安全運転教室が、静岡県自動車学校静岡校の御協力のもとに開催されました。当日は、県中部地区の会員39名が参加し、事故防止の心得を再確認しました。

実技講習では、時速30kmからの緊急停止、パイロンスラロームを使い素早いハンドル操作、見通しの悪い交差点での一時停止後、徐行しながらの前進等の安全確認、最後にS字コースを使い、運転姿勢の確認と車幅と軌跡感覚の捉え方などを実車しながら確認をしました。



教室終了後の秋から年末にかけて、事故が大変多くなるそうです。日が短くなるため、早めにライトを点灯することが大切です。また、前方不注意による追突事故や右折時による出会い頭の事故に注意すること、最近は高齢者ドライバーが増えているため事故も増加していること、運転者だけでなく歩行者も反射板などを付ける等の工夫が必要だということを学びました。

実技終了後、参加者39名に（一財）静岡県安全運転協会からご寄附いただいた障害者ステッカーと修了証を贈呈し、終了しました。

第20回静岡県身体障害者グラウンド・ゴルフ大会（団体戦）

日時：平成28年10月29日(日) 9：30～14：30

場所：草薙総合運動場 補助競技場

今回の大会は、小雨が降ったりやんだりのお天気の中、開催されましたが、開会式での焼津市身体障害者福祉協会の吉田志郎さんの元気いっぴいな選手宣誓が、「さあやるぞ！！」という気持ちにさせてくれました。優勝は、焼津市Aチームでした。おめでとうございます！！



【団体優勝：焼津市Aチーム】

現在、グラウンド・ゴルフ県大会の個人戦・団体戦について各市町から色々なご意見をいただいています。交通面、経費面など色々な課題がある中、皆さまのご協力もあり大会を続けてきましたが、29年度において見直しをおこなう予定です。選手の皆さんが参加しやすい体制作り、大会方法を次回スポーツ部会で話し合う予定です。

29年度の体制については、3月の理事会・評議員会後の発表となります。

【結 果】団体戦

順位	チーム名	合計
優勝	焼津市A	263
準優勝	御前崎市A	273
3位	函南町A	292
4位	磐田市	292
5位	島田市A	295

個人戦

順位	チーム名	名前	合計
1位	焼津市A	増田 昭司	48
2位	御前崎市A	柏原 敦子	48
3位	浜松市 雄踏舞阪支部	渥美 潔	50

※結果の詳細につきましては、HPをご覧ください。

(<http://www.e-switch.jp/shizuoka-shinsyo/>)

ブロックだより

東部ブロック 裾野市身体障害者福祉会

平成28年度東部ブロック主催秋季相談員研修会

相談員研修会が東部各地から相談員84名集まり、平成28年10月4日(火)に裾野市生涯学習センターで開催されました。

午前中の体験発表では、加藤朝久氏(御殿場市)、勝又良子氏(長泉町)、松本亨吉氏(裾野市)の3名が貴重な素晴らしい体験発表をしました。老人クラブ活動を通じた長寿者との交流や、福祉関連誌に協力して聴覚障害者に執筆原稿を依頼したときのエピソード、福祉会館での売店運営、研修会で学んだことの尊さ等、身近な実践発表が行われ、障害の有無に関係なく自分のできることを精一杯頑張ることの大切さを語られました。

続いて、午後は東名裾野病院長木本紀代子先生が、演題「糖尿病になるとどうなるの？透析ってなに？」で講演され、相談員は身近な話に熱心に聴き入っていました。

特に、退会している構成団体の相談員が24名も参加していたことは大変うれしかったです。これからも退会した構成団体に声を掛けていきたいと思えます。



中部ブロック

女性部主催『秋の研修会』は楽しくて有意義でした

女性部主催研修会は、ブロック恒例行事として、新春・夏・秋と年3回行われており、男性も参加可能で、ブロックの融和に大きく貢献しています。

今回は、平成28年10月1日、藤枝市老人福祉センター(藤美園)にて、妙好庵の庵主で尼僧「中野俊光」様をお迎えして開催されました。

「心身一如」「因果必然」「今生きていることの幸せ」これらの言葉を中心に講話していただきました。不平不満・不足愚痴の先にある人生と、すべてに感謝と学ぶ心での先にある人生とでは、『心の持ちようで人生がまったく違う方向に進んでしまうのですよ』と教えてくださいました。巧みな話術で笑いを誘われ、話の内容の深さに、みんな思わず引き込まれていきました。

お話の後では、懐メロをみんなで歌って、食事会となり、再会を約束して解散しました。

現在、他のブロックではこのような行事は行われていないようですが、ブロックの雰囲気作りにはとても有効ですので、ぜひ取り組んでいただきたいと思えます。



西部ブロック 磐田市身体障害者福祉会

第12回磐田市身体障害者スポーツ大会

平成28年10月22日(土)、アミューズ豊田メインアリーナで第12回磐田市身体障害者スポーツ大会が開催されました。

今年度初めて、磐田市スポーツ推進室の人達に合同で運営から参加して頂き、話し合いのなかで新たな競技の提案も有り、協議を重ねて、内容が似ている競技と変更して臨む事になり、全ての競技進行を任せ、また当日の開会式・閉会式を除き、競技に係わる運営を任せました。

当日は21名の中学生ボランティアに競技係を決めて競技全般



のお手伝いをお願いし、出場選手のサポートもして頂き助かりました。参加した皆さんが楽しい一日を過ごすことが出来ました。

【参加者】 選手127名、スポーツ推進室13名、中学生ボランティア21名、手話通訳3名、要約筆記2名、総勢166名のスポーツ大会でした。

【結果】 団体競技は各支部対抗戦です（磐田・豊田・豊岡A・豊岡B・福田竜洋合同）

◎優勝：磐田支部 ◎準優勝：福田竜洋合同 ◎3位：豊田支部

浜松ブロック 浜松市身体障害者福祉協議会

シダックス招待「ふれあいカラオケ大会」参加

10月25日(火)午前11時より、シダックス主催「敬老ふれあいカラオケ大会」が、シダックス住吉店であり招待を受けました。

この無料招待イベントは、「敬老の日を祝い、地元のお年寄りを招待し感謝の気持ちを伝えたい」と私共の会に10年近く行われてきた大変うれしいイベントです。近年、趣味の多様化に伴いカラオケブームが低迷し、シダックスも浜松地区から2店舗が閉鎖されました。このようなことから、本年は「どうか」と思っていたのですが、招待状が届き参加した次第です。

二橋会長をはじめとしてカラオケ好き10名が集まり、昼食をはさんで各人それぞれ得意とする歌を披露し、拍子木も加わり大盛況でした。最後に、二橋会長より「われわれ障害者の会の皆様にもご厚意を感謝しシダックスをPRしてゆきたい」と謝辞を申し上げます。記念に集合写真を撮り散会いたしました。歌に酔い感激し、ご厚意に感動した思い出に残る一日でした。



静岡県障害者芸術祭参加事業 第42回静岡県障害者文化作品展を開催

開催日：平成28年11月17日(木)～22日(火)

場 所：静岡県総合社会福祉会館 1階展示ギャラリー他

今年で42回目となる障害者文化作品展が上記の日程で開催され、県内各地より応募のあった209作品が会場を彩りました。

初日に行われた審査では、最優秀賞（静岡県健康福祉部長賞）6点をはじめとする計41点の入賞作品が決定し、最終日には盛大に表彰式が行われました。

今回、全体の作品数はあまり多くありませんでしたが、作品のレベルは、年々着実に上がっているように感じました。来年度もたくさんの出品をお待ちしております。

このたび、最優秀賞（静岡県健康福祉部長賞）に輝いた皆さんは以下のとおりです。おめでとうございます！



最優秀賞を受賞された皆さん

部 門	題 名	氏 名	市町名	障害区分
絵 画	溪流	坂部 進	掛川市	難聴
書 道	菜の花や（俳句）	永井 利夫	菊川市	身体障害
写 真	越前海岸の夕景	寺田 幸男	磐田市	頸椎障害
工 芸	花瓶三種	田村恵美子	吉田町	脳血管障害
手 芸	トートバッグ	中込 政子	静岡市	内部障害
文芸書画	秋の花	川瀬 悦子	長泉町	心臓障害

※他の入賞者は、静岡県身体障害者福祉会のホームページに掲載しております。そちらもご覧ください。
(<http://www.e-switch.jp/shizuoka-shinsyo/>)

三幸協同製作所社会見学旅行

三幸協同製作所では、秋に日帰り旅行へ出かけます。なるべく利用者さんの希望する場所へ参加して頂きたいという思いから11月4日(金)、11日(金)、18日(金)と3コースに分かれ旅行へ行きました。

1回目の4日は、午前中にトヨタ博物館で各国の旧車、最新車約120台を見学しました。展示してある車は定期的に整備され、走れる状態になっている事には驚きでした。昼食は天むす、味噌カツ、名古屋コーチン鍋などの名古屋めしランチを堪能しました。午後は大須商店街を散策した後に、大須演芸場で落語・



漫才を見物しました。

2回目の11日は、午前中に沼津深海魚水族館で珍しく不思議な深海魚を見学しました。昼食は刺身の船盛り、フライ盛り合わせ、あら汁など海鮮ランチを満喫しました。午後は、紅葉が綺麗な富士サファリパークで動物を間近で見学してきました。心配していた雨もあがり、とても綺麗な富士山の雪化粧も見る事ができ楽しい1日でした。

3回目の18日は、午前中に名古屋港水族館にて国内最大級のプールで行われるイルカのショーを見学したり、昼食は高級洋食コース料理を満喫しました。午後は大須商店街にてショッピングを楽しみました。

3コースとも、帰りのバス内は皆さんの笑顔とお土産で溢れていました。

文藝 短歌

あと十年生きたいといふ欲の出で

おそまきながら修めてくらす

若き日に病みて八年臥せし日が

老いてますますおもひ出される

なりふりをかまはぬ母の看病が

八十歳のいまも鮮らし

河津町 中村 保則

神棚へ正月迎え餅そなう

晦日の後目終えて年越す

七草の節会を迎え土鍋炊く

寒のつぎきて春は遠きし

冬空を覆いて流る鰯雲

あすも晴れ日か正月十日

袋井市 寺澤 光彌



投稿大募集!!

短歌・俳句・川柳はもちろん、地域での活動や取り組みの様子、日ごろの生活で得た感動や発見、思いなどありましたらぜひご投稿ください。※点訳をするために漢字には必ずふりがなをお願いします。

今回の投稿締め切りは、**6月9日(金)**です。

<送付先> 静岡県身体障害者福祉会

〒420-0856 静岡市葵区駿府町1-70 静岡県総合社会福祉会館5階

電話 054-252-7829 / FAX 054-255-2011